

## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	仁科了治
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 内線	3334
事務事業名	11703 予防接種事業（市単独実施）	
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課	
施 策	02010200 健康づくりの推進	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費
	事業	020000 予防接種事業（市単独実施）
事業目的		事業概要・効果
集団生活等での感染症を予防し、重症化を防ぐためインフルエンザ予防接種費用助成を行う。		0歳～15歳(中学3年生)のインフルエンザ予防接種に対し必要回数1回につき1,200円(平成26年度までは1,000円)の助成を行う。市民税非課税世帯・生活保護世帯の者に対しては全額助成を行う。

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
こどものインフルエンザ予防接種助成 令和2年度に限り対象者を高校生までと妊婦、児童扶養手当受給者に拡大	こどものインフルエンザ予防接種助成
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
こどものインフルエンザ予防接種助成	こどものインフルエンザ予防接種助成
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		6,125	9,358
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5,000	8,000
一般財源		1,125	1,358
人員数(人)	正規職員	0.0	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	0.0	695.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	325.6	325.6
	計	325.6	1,021.4
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		6,450.6	10,379.4

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	163	消耗品17、印刷製本費146
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,962	ワクチン接種費用助成5,796、郵便料166

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	175	消耗品30、印刷製本145
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	9,183	ワクチン接種費用助成9,000、郵便料183

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	集団生活でのインフルエンザ感染予防、重症化予防のため必要性は高い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	感染予防、重症化予防のために有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	接種率向上のため、小中学校の児童生徒には学校を通じて予診票を配布しているが、当該準備にかかる作業時間などの効率は変わっていない。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍であったが、2021年度と同等の受診率であり、感染予防・重症化予防に貢献できた。小中学校への予診票など配布については、業務の効率性で課題があるが、今後もその課題解決に向けて研究していきたい。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>学齢世代の集団免疫獲得に一定の寄与をしている。子どもは”宝”プロジェクトに含まれる。</p>		<p>子どもは集団生活の場が多くあり、蔓延防止の目的で実施している。感染予防、重症化予防のために有効である。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	仁科了治
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3334
<b>事務事業名</b>	4110 健康診査事業											
<b>所 属</b>	100600 健康福祉部・健康づくり課											
<b>施 策</b>	02010200 健康づくりの推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	040102 衛生費・保健衛生費・予防費										
	<b>事業</b>	050000 健康診査事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
後期高齢者健診、各種がん検診等を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。 若年者からの健診の習慣付けと早期の対応						後期高齢者健診：75歳以上の市民に対し、個別・集団で実施。各種がん検診：対象年齢の市民に対し主に集団で実施。乳がん超音波検診や肺がんCT検診を導入するなど、精度の高い検診を行うことにより、早期発見、早期治療に繋げることができる。市民が受診しやすいよう、胃検診・大腸がん検診は地域を巡回して実施している。 ・2020年度より、予約制を導入、受付を分けることや密の解消の整理も実施、徴収員を増員している。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
各種がん検診の実施 後期高齢者健診の実施 若年者健診の実施	各種がん検診の実施 後期高齢者健診の実施 若年者健診の実施 歯科健診（検診）の実施
<b>令和 4年度 実績</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
各種がん検診の実施 後期高齢者健診の実施 若年者健診の実施 歯科健診（検診）の実施	各種がん検診の実施 後期高齢者健診の実施 若年者健診の実施 歯科健診（検診）の実施
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	胃がん検診の受診率				
算式	胃がん検診受診者数÷胃がん検診受診対象者×100				単位   %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国の目標値である50%とする				
指標名	大腸がん検診の受診率				
算式	大腸がん検診受診者数÷大腸がん検診受診対象者×100				単位   %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国の目標値である50%とする				
指標名	肺がん検診の受診率				
算式	肺がん検診受診者数÷肺がん検診受診対象者×100				単位   %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国の目標値である50%とする				

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		125,236	129,726
特定財源	国庫支出金	71	71
	都道府県支出金	3,814	3,591
	地方債	0	0
	その他	10,330	27,727
一般財源		111,021	98,337
人員数(人)	正規職員	0.8	0.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.9	0.9
人員コスト	正規職員	5,566.4	6,262.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,465.2	1,465.2
	計	7,031.6	7,727.4
市民一人当たりの経費		2.5	2.6
総額		132,267.6	137,453.4

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	826	消耗品費104、食糧費0、印刷製本費722
12節 委託費	102,433	電算委託料2,948、委託料99,485
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	9,060	補助金9,060
その他	12,917	報酬4,458、役務費4,817、使用料及び賃借料2,048 ほか1,594

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,003	消耗品費119、食糧費9、印刷製本875
12節 委託費	113,632	電算委託料2,962、検診委託料110,000ほか670
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,091	旅費3、役務費5,520 ほか9,568

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	各種健(検)診は、国から指針が示された事業であり、市民の健康に対して必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	「がん」の早期発見・早期治療に結びついており大変有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	時間指定制の導入で、受診時間の短縮(待ち時間の短縮)で効率性が向上しているとともに、受診者の安心にもつながっている。また、検診会場を一部集約したことで、委託先の収益にも貢献でき、持続可能な検診となるための一助となった。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍での対応として、各種がん検診については、時間指定制として受診者に対して安心できる検診となった。歯科健(検)診については、実施2年目であり、受診者数も向上した。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
<p>コロナ感染予防対策をしながら、各種健（検）診を継続して実施している。早期発見・早期治療につなげている。</p>	

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
<p>国から指針が示された事業であり、「がん」の早期発見・早期治療に結びついており大変有効である。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	
<p></p>	



## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	鈴木あゆ子
	全体計画			経費区分	-	内線	3354
事務事業名	4111 母子保健事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	02010200 健康づくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・健康づくり推進費					
	事業	010000 母子保健事業					
事業目的				事業概要・効果			
母子保健法に基づく各種健診のほかに、健康相談、離乳食講座等をおし、母子の健康の保持、増進を図る。妊娠期から子育て期にかけて切れ目ない支援を行う。				事業概要 須崎市母子保健計画に基づいた事業を実施する（子育て支援の家庭訪問、健康相談、保健指導、健康教育、発達障がいの疑いの児の相談事業、療育事業等） 妊娠期から産後にかけての健康診査等の助成をし、安心、安全な出産を支援します。 効果 ・子ども達が健やかで、心豊かに育つこと ・親が自覚と責任を持ち、安心して子育てができること			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケア事業は、生活保護世帯・市民税非課税世帯の方の自己負担分を無料とし、利用しやすくする。</li> <li>・妊娠期から子育て期までの総合相談窓口を設置し、子ども課と連携した相談対応を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期から子育て期までの総合相談窓口、妊娠・子育てなんでも相談おひさまを設置し、子ども課と連携した相談対応を図る。</li> <li>・乳幼児健診の未受診者、精密検査の受診勧奨及び、全数把握（対応の徹底）</li> </ul>
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期から子育て期までの総合相談窓口、妊娠・子育てなんでも相談おひさまを設置し、子ども課と連携した相談対応を図る。</li> <li>・乳幼児健診の未受診者、精密検査の受診勧奨及び、全数把握のためマニュアルに沿った支援の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期から子育て期までの総合相談窓口を設置し、子ども課と連携した相談対応を図る。</li> <li>・乳幼児健診の未受診者、精密検査の受診勧奨及び、全数把握（対応の徹底）のためマニュアルに沿った支援の実施。妊娠中のアンケートによる支援の実施。</li> </ul>
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	乳幼児健康診査平均受診率（1歳6か月児、3歳児）				
算式	乳幼児健康診査受診者数÷対象者数×100				単位 %
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	100	100	100	
	実績	98	95		
指標選定の理由	子どもの成長の節目をとらえて、子どもの成長や発達を親と確認し、親が安心して子育てできるような支援することが重要なため、乳幼児健康診査の受診率を指標とした。				
最終年度目標の根拠	全ての子どもが健全に発育・発達できるよう支援するため。				
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		87,026	103,939
特定財源	国庫支出金	19,793	25,464
	都道府県支出金	4,179	6,194
	地方債	0	0
	その他	30,933	35,723
一般財源		32,121	36,558
人員数(人)	正規職員	4.4	4.0
	会計年度(フル)	0.9	0.9
	会計年度(パート)	1.3	1.5
人員コスト	正規職員	30,615.2	27,832.0
	会計年度(フル)	3,153.6	3,153.6
	会計年度(パート)	2,116.4	2,442.0
	計	35,885.2	33,427.6
市民一人当たりの経費		2.3	2.6
総額		122,911.2	137,366.6

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	3,053	乳幼児健康診査医師・歯科医師謝礼1,531、親子教室(療育事業)講師謝礼1,370、乳幼児心理相談謝礼151 他1
10節 需用費	1,112	母子健康手帳59、乳幼児健康診査消耗品686 他367
12節 委託費	40,751	電算委託料1,524、妊婦健康診査委託料33,530、乳児健康診査委託料1,779、産後ケア事業委託料1,210、産婦健康診査委託料2,707 他1
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	200	妊婦健康診査補助154、産婦健康診査補助金39 他7
その他	41,910	未熟児養育医療費2,426、会計年度任用職員報酬4,405、会計年度任用職員給与7,094、妊娠・出産包括支援事業償還金392 他27,593

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	3,366	乳幼児健康診査医師・歯科医師謝礼1,548、親子教室（療育事業）講師謝礼1,140、乳幼児心理相談員謝礼165 他513
10節 需用費	1,236	母子健康手帳72、乳幼児健康診査消耗品627 他537
12節 委託費	49,996	子育てアプリ運用委託料66、妊婦健康診査委託料40,000、乳児健康診査委託料4,000、産後ケア事業委託料2,630 産婦健康診査委託料3,300
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,173	妊婦健康診査補助金1,000 産婦健康診査補助金150 他23
その他	48,168	会計年度任用職員報酬5,658、会計年度任用職員給料4,835、職員手当等1,505、旅費405、役務費601、共済費2,778、扶助費31,200 他1,186

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行うことで保護者の心身の安定につながるため、妊娠届出時から支援が必要と思われる方へのアプローチを行い、継続した支援につながっている。 乳幼児健診により、全ての子どもの成長と発達について必要な支援が行えるように、精密検査の結果の確認と未受診者の把握を行うことは今後も必要な支援と考える。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	指標である受診率は下がっているが、未受診者の把握をマニュアルに沿って徹底することで、児の状況を把握し、関係機関と連携をとることが出来ている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	核家族化が進み、育児の孤立化が取りざたされる中で、複雑な家庭環境、メンタルの不調を抱える妊産婦など、支援を必要とするケースは増えており、丁寧な支援を行っていくにはさらに人員等の充実が必要と考える。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

出産・子育て応援交付金に併せた伴走型支援の実施など、国から新たな事業への取り組みが示され、これまでの事業との関連を検討しながら実施につなげることが出来た。  
 医療的ケアが必要な児や発達障がいなどの疑いがある児への支援について、関係課等と連携して支援をしてきているが、支援を受ける側からはわかりづらく不安も聞かれており、相談者が安心できる連携体制の明確化が課題となっている。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援について、関係機関と連携し対応することができている。子育てへの負担感の軽減につながっている。</p>		<p>須坂市母子保健計画に基づいた事業を実施し、母性並びに乳幼児の健康保持・増進を図っている。妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援もさらに充実し、子育てへの負担感軽減につながっている。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	<input checked="" type="checkbox"/> 実計対象	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	津山 美由紀
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3352
事務事業名	4112 健康増進事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	02010200 健康づくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・健康づくり推進費					
	事業	020000 健康増進事業					
事業目的				事業概要・効果			
健康づくりの指標となる「第2次須坂市健康づくり計画」に基づき、保健指導、健康講座などを行い、生涯を通じて生活習慣病予防を主体的に実践する市民を増やす。				「生涯健康都市すざか」を目指し、市民1人ひとりが「自分の健康は、自分でつくり守る」ために健康増進に関わる事業を実施する。健康に対する意識を持ち、主体的に実践する市民を増やすことで、生涯にわたり健康で暮らせる須坂市を目指す。  【ヒア補足】 ●財源対象となっている高齢者の保健事業と介護予防等の一体化事業はコロナ禍でどれだけできるか不明。 ●スムージー事業はSNSでの情報発信を通じて、若い世代に取組みが広がりがつつある。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施一須坂エクササイズ出前講座、健康応援教室、健康メニューの普及、健康スムージーの普及 など	食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施一須坂エクササイズ出前講座、健康応援教室、健康メニューの普及、健康スムージーの普及 など 各種計画の評価に向けたアンケートを実施
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
健康意識に関するアンケート調査の分析と健康づくり計画の指標評価分析、食育事業の実施、高齢者の保健事業と介護予防との一体的実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施	次期須坂市健康増進計画、須坂市食育推進計画の策定、高齢者の保健事業と介護予防との一体的実施、健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	保健補導員のうち、毎日血圧測定する人の割合				
算式	保健補導員アンケートで毎日血圧測定と回答した人数÷アンケート回答者総数×100				単位 %
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				30.0%
	実績	19.8	23.2		
指標選定の理由	生活習慣病予防を主体的に継続的に実践している指標として設定				
最終年度目標の根拠	2020年度実施の保健補導員アンケート結果（15%）を基に設定 任期2年の市民の代表である保健補導員の血圧に対する意識の向上を把握することができる。				
指標名	尿中塩分量10.0g未満の人の割合				
算式	尿中塩分量10.0g未満の人数÷尿中塩分測定参加者×100				単位 %
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				72.0%
	実績	58.9	55.1		
指標選定の理由	須坂市の健康課題である高血圧に強い影響を及ぼす塩分摂取量を指標とした。				
最終年度目標の根拠	より多くの住民が減塩に取り組むことで高血圧の改善が期待できる。				
指標名	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している人の割合				
算式	特定健診で上記運動内容の質問項目該当者数÷特定健診受診者数×100				単位 %
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				40.0%
	実績	34.8	34.7		
指標選定の理由	定期的な運動習慣を持つ人が増えることにより、生活習慣病およびフレイルを予防する。				
最終年度目標の根拠	運動習慣を持つ人の割合が増えることで健康な市民を増やすことができる。				

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		11,034	19,177
特定財源	国庫支出金	880	780
	都道府県支出金	289	0
	地方債	0	0
	その他	1,263	931
一般財源		8,602	17,466
人員数(人)	正規職員	3.0	2.7
	会計年度(フル)	1.9	1.6
	会計年度(パート)	0.6	0.8
人員コスト	正規職員	20,874.0	18,786.6
	会計年度(フル)	6,657.6	5,606.4
	会計年度(パート)	976.8	1,302.4
	計	28,508.4	25,695.4
市民一人当たりの経費		0.8	0.9
総額		39,542.4	44,872.4

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	167	健康教室講師謝礼 167
10節 需用費	1,929	健康教室、食育事業事務用品 1,215 燃料費 15 健康カレンダー、ウォーキングマップ、食育リーフレット印刷製本費 699
12節 委託費	58	尿中塩分測定検査 58
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,949	健康まつり実行委員会負担金 0 信州須坂健康スミージー推進協議会負担金 1,946 会議等出席負担金 3
その他	6,931	会計年度任用職員報酬 5,228、職員手当 611、共済費 763、旅費 207、役員費 37、使用料及び賃借料 11、備品購入費 74

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	595	健康教室講師謝礼 553 食育事業謝礼 42
10節 需用費	2,799	健康教室・食育事業事務用品 1,400、健康講座チラシ・健康カレンダー・ウォーキングマップ印刷製本費 1,380、食糧費3、燃料費 16
12節 委託費	355	システム・機械保守 27、尿中塩分測定検査 83 健康づくり計画等作成委託料 245
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,200	健康まつり実行委員会負担金 600 信州須坂健康スミージー推進協議会負担金 1,560、研修会負担金 40
その他	13,228	会計年度任用職員報酬 6,505、会計年度任用職員給料 2,434、職員手当 1,449、共済費 1,634、旅費 310、役務費 810、使用料 86

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりの指針である「健康づくり計画」に基づき、健康寿命延伸につながるよう子どもの頃から生涯を通じて生活習慣病予防を主体的に取組むことができるよう健康づくりを実施している。市民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくり守る」ため、本事業は必要である。</li> </ul>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの頃からの健康習慣は、生涯の健康な身体づくりの土台となり、食育、歯の健康、運動等小中学校と連携し、効果的に実施し、健康を維持していくための習慣づくりに寄与している。須坂市が持つ健康課題について、広報に掲載する等発信を心掛けている。</li> </ul>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育等のボランティアの活動支援を行い、地域の力を活かしながら事業を推進している。健康スミージーの普及については、地域発元気づくり支援金を活用するなど財源確保に努めている。</li> </ul>	

振り返り（決算年度の取組み課題）

第2次健康須坂ときめき21に基づいた事業の推進と計画の指標評価を行った。SNSを活用したスミージーフェスの開催、限定モデルドレッシングの販売により若年層への野菜や果物の摂取・減塩について周知できた。次年度は、市の健康課題を明確にし生活習慣病発症予防や重症化予防に重点をおき、食育推進基本計画と一体的な計画を作成する。健康増進に関する取組みを広く市民に周知し、活用してもらうために情報発信と関係団体との連携をさらに進める。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
感染拡大防止に配慮しながら、保健指導、健康講座、食育などの実施やスミージーフェスの開催等で若年層への野菜果物摂取等を周知するなど、市民の健康増進の意識向上を図る。		「自分の健康は自分で作り守る」を基本に、市民の健康増進や意識向上を図る。保健指導、健康講座、食育などの実施やスミージーフェスの開催等で効果を上げている。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



# 令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	鈴木あゆ子
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 内線	3354
事務事業名	10628 精神保健事業	
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課	
施 策	02010200 健康づくりの推進	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・健康づくり推進費
	事業	030000 精神保健事業
事業目的		事業概要・効果
自殺予防、精神保健の理解のための普及啓発活動を行う 気軽に相談できる相談窓口を充実させる 地域関係者を含めた庁内関係機関と連携し、自殺予防対策を進めるためのネットワークの構築を行う		事業概要 心の健康づくりに関する意識を高めるため、講座等普及啓発活動の事業を実施する 自殺予防対策の取組みとして、相談事業の他に、地域関係者を含めた庁内関係部署と連携し、自殺予防対策連絡会議やゲートキーパー研修を実施する 効果 ・心の健康を保ち、ストレスと上手に付き合う人が増える。 ・自殺者数の減少

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
自殺予防対策計画に基づき事業実施（相談支援、普及啓発事業、人材育成事業、自殺未遂者支援事業） いのちと暮らしの総合相談会の実施（須高地区）	自殺予防対策計画に基づき事業実施（相談支援事業、普及啓発事業、ゲートキーパー養成講座による人材育成、ネットワークの構築） 須高精神保健福祉連絡協議会による、いのちと暮らしの総合相談会の実施、自殺未遂者支援事業の実施
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
自殺予防対策計画に基づき事業実施（相談支援事業、普及啓発事業、ゲートキーパー養成講座による人材育成、ネットワークの構築） 須高3市町村による総合相談会、自殺未遂者支援事業の実施。第4期自殺予防対策計画の策定	第4期自殺予防計画に基づき事業実施 須高3市町村による総合相談会、自殺未遂者支援、ひきこもり部会、ゲートキーパー養成講座等の開催
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
第4期自殺予防計画に基づき事業実施	第4期自殺予防計画に基づき事業実施

指標名						単位	人
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		869	804
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	562	532
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		307	272
人員数(人)	正規職員	2.3	2.3
	会計年度(フル)	0.3	0.3
	会計年度(パート)	0.4	0.3
人員コスト	正規職員	16,003.4	16,003.4
	会計年度(フル)	1,051.2	1,051.2
	会計年度(パート)	651.2	488.4
	計	17,705.8	17,543.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		18,574.8	18,347.0

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	91	ゲートキーパー養成講座91
10節 需用費	114	研修会の消耗品9 印刷製本101 他4
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	441	須高精神保健福祉協議会の負担金441
その他	223	郵便料1 備品購入216 他6

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	253	こころの健康づくり講座100、うつ病の方の家族教室講師謝礼30、ゲートキーパー研修90、悩み無料ダイヤル専門相談員謝礼33
10節 需用費	15	研修会の消耗品他15
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	490	須高精神保健福祉協議会の負担金490
その他	46	旅費40（こころの健康づくり講座費用弁償、うつの方の家族教室講師費用弁償、ゲートキーパー研修他） 他6

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	須坂市の自殺の現状、自殺対策基本法、自殺総合対策大綱の趣旨を踏まえ、2023年度からの第4期須坂市自殺予防対策計画の策定を行った。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	第3期須坂市自殺予防対策計画の評価では、須坂市の自殺者数は減少傾向であり、2019年以降は自殺死亡率も国や県よりも低くなっていることから、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	自殺予防対策は担当課の取り組みだけでなく、関係部署の連携、地域の多様な関係者の協力が必要であり、そのための会議や情報共有について、効果的な方法を検討していきたい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

第3期須坂市自殺予防対策計画の評価と第4期須坂市自殺予防対策計画の策定を行った。須坂市の自殺の現状を見ると、働き盛りの男性と高齢者の自殺が多いことが分かった。自殺予防対策を推進するために、企業や介護などの関係機関との連携や自殺予防に関する理解の促進を図っていく必要がある。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
関係機関との連携し、相談支援、周知啓発など自殺予防対策を推進する。		現状と課題を踏まえ、第4期須坂市自殺予防対策計画の策定を行った。関係機関と連携し推進する重要な事業である。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 5年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	仁科了治
<b>全体計画</b>	令和 3年度	～	令和 3年度	<b>経費区分</b>	実施計画事業費	<b>内線</b>	3334				
<b>事務事業名</b>	15094 保健センター整備事業										
<b>所 属</b>	100600 健康福祉部・健康づくり課										
<b>施 策</b>	02010200 健康づくりの推進										
<b>会計</b>	01 一般会計										
<b>科目</b>	040104 衛生費・保健衛生費・保健センター費										
<b>事業</b>	020000 保健センター整備事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
全ての者が、安心安全にセンターを利用できるよう施設改修を行う。						センターの正面玄関から階段・道路まで及び検診車駐車場の舗装が劣化し、利用者の安全確保・通行等に支障が出ており、舗装等修繕が必要である。また、正面玄関の自動ドアも、設置から20年以上が経過し既存の基盤装置等の供給も終了しており、故障の際は開閉不能となるため取替が必要である。 平成30年度策定の公共施設等総合管理計画によると、維持管理等の方針では、起債等の活用を検討とされている。事務室も手狭になり、業務に支障が出ているため、将来的に増築等も視野に入れた長期的な修繕計画を検討する時期に来ている。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
エレベーター改修工事 13,420千円	リハビリルームエアコン改修工事 非常放送設備本機入替工事
<b>令和 4年度 実績</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
設計業務委託 500千円 自動ドア取替工事 322千円	設計業務委託 340千円 外構改修工事 19,000千円 照明器具LED化工事 4,500千円
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		811	24,090
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	23,300
	その他	0	0
一般財源		811	790
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	325.6	325.6
	計	325.6	325.6
市民一人当たりの経費		0.0	0.5
総額		1,136.6	24,415.6

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	489	設計業務委託料489
14節 工事請負費	322	保健センター自動ドア取替工事322
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	340	設計業務委託料340
14節 工事請負費	23,500	外構改修工事19,000、照明器具LED化工事4,500
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	250	備品購入費250

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	市民の健康を守る施設を安全に使用できるように必要な事業であった。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	施設利用者が安全に使用できる工事であり、かつ長寿命化ができ、大変有効であった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	工事を実施したことで長寿命化が実現でき、新規入替えとなった場合と比較するとコスト削減が実現できた	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

工事期間中、施設利用者に不便をかけることなく実施でき、また、当該施設で実施している健診事業にも影響なく工事を実施できた。当該箇所の長寿命化と安全を確保できた。

**ACTION**

**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
全ての保健センター利用者が安全に安心して利用できる環境を、整備する。	

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
市民が健診受診や健康づくりに取り組むことを推進するため、保健センター利用者が安全に安心して利用できる環境の整備は重要である。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 5 年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	堀内理恵
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>	3338
<b>事務事業名</b>	17612 福祉医療費給付金事業											
<b>所 属</b>	100800 健康福祉部・医療保険課											
<b>施 策</b>	02010300 地域医療支援体制の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	030107 民生費・社会福祉費・福祉医療費給付金対策費										
	<b>事業</b>	010000 福祉医療費給付金事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
早期に適切な受療と負担軽減を図り、市民福祉の向上に寄与する。						乳幼児・児童・生徒、障がい者、母子家庭の母子等及び父子家庭の父子の医療費を助成する。						

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
支給件数 57,158件 支給額 276,494,030円	支給件数 60,084件 支給額 288,898,371円
<b>令和 4年度 実績</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
支給件数 61,528件 支給額 295,915,002円	支給件数 65,000件 支給額 320,000,000円
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		318,643	347,200
特定財源	国庫支出金	0	1,330
	都道府県支出金	115,888	117,958
	地方債	0	0
	その他	0	80,540
一般財源		202,755	147,372
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.4	1.2
人員コスト	正規職員	2,783.2	2,783.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	2,279.2	1,953.6
	計	5,062.4	4,736.8
市民一人当たりの経費		6.2	6.7
総額		323,705.4	351,936.8

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	8	消耗品 8
12節 委託費	18,945	福祉医療給付業務委託料 276、福祉医療システム改修委託料 358、自動給付方式事務委託料 14,129、現物給付方式事務委託料 4,183
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	299,690	報酬 1,944、職員手当等 383、共済費 382、旅費 60、役務費(郵便料) 385、システム使用料 622、扶助費 295,915

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	8	消耗品 8
12節 委託費	19,978	福祉医療給付業務委託料 276、自動給付方式事務委託料 14,000、現物給付方式事務委託料 5,700、未熟児養育医療審査支払事務委託料 2
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	327,214	報酬 2,066、職員手当等 397、共済費 411、旅費 62、役務費(郵便料) 450、システム使用料 628、扶助費 323,200

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	早期適切な受療と医療費の負担軽減を図るために必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	早期受診と医療費の負担軽減につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	<p>受給者には1レセプト(診療報酬明細書)ごとに、500円(身障4級は高齢者医療確保法による一部負担金)を負担いただいている。乳幼児等の県の通院補助対象が小学校3年生までに拡大したため、令和5年度より対象年齢を18歳の年度末まで拡大した。引き続き県の補助拡大を要望していく。</p>	

振り返り(決算年度の取組み課題)

要望の多かった対象年齢拡大(18歳年度末まで)は実施できたが、窓口無料化については、国や県、近隣市町村の動向や給付額の推移を見ながら、対象範囲の検討など、持続可能な制度として取り組んでいく必要がある。  
また、マイナンバーカードとの連携が検討されているため、国や県の動向を注視していく。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>適正な早期受療と医療費の負担軽減を図るため、必要不可欠である。 窓口無料化は安定的な財源が必要なため、引き続き県へ補助拡大を要望し、制度が持続できるよう取り組む必要がある。</p>		<p>乳幼児等の対象年齢を、令和5年度より18歳の年度末まで拡大した。適正な早期受診と医療費の負担軽減を図り、今後も安定した制度運営を継続する。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	仁科了治
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3334
<b>事務事業名</b>	5858 特定健康診査事業											
<b>所 属</b>	100600 健康福祉部・健康づくり課											
<b>施 策</b>	02010300 地域医療支援体制の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	11 国民健康保険特別会計										
	<b>科目</b>	040201 保健事業費・特定健康診査等事業費・特定健康診査等事業費										
	<b>事業</b>	010100 特定健康診査等事業・特定健康診査事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
将来的な医療費の削減を目指す。						平成20年度から40歳以上の被保険者を対象に、内臓脂肪型肥満に着目した特定健康診査・特定保健指導が保険者に義務付けとなり、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍を減少させるための特定保健指導が必要となる人を抽出するために健診を実施する。 2021年度からのコロナ禍により、予約制を導入、健診時間が延長となり、徴収員の時間数増加						

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
受診率42.1%	受診率43.7%
<b>令和 4年度 実績</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
受診率46.6%	受診率47.0%
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	特定健診の年間受診率					
算式	健診受信者／40歳以上の被保険者				単位	%
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	第三期特健等計画が30年度末で60%を目指しているため					
最終年度目標の根拠	国掲示値が30年度末で60%であるため					
指標名						
算式					単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		26,889	32,225
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	12,850
	地方債	0	0
	その他	0	1,470
一般財源		26,889	17,905
人員数(人)	正規職員	0.4	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.4	0.4
人員コスト	正規職員	2,783.2	2,087.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	651.2	651.2
	計	3,434.4	2,738.6
市民一人当たりの経費		0.6	0.7
総額		30,323.4	34,963.6

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	114	消耗品費 67 印刷製本費 47
12節 委託費	26,578	その他委託料 26,578
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	197	報酬20 役務費 177

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	130	消耗品費 66 印刷製本費 64
12節 委託費	31,762	健診等委託料 31,000 データ管理委託 762
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	333	報酬 91 旅費 3 役務費 200 使用料及び賃借料 2ほか 37

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	平成20年4月から、医療保険者が40歳から74歳までの加入者を対象して、毎年度、計画的に実施する。メタボリックシンドロームに着目した検査項目による健康診査である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	コロナ禍により受診控えがあったが、2022年度は、コロナ禍前に受診歴があった約240名などに受診勧奨を実施した結果、受診率が向上し有効であった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	時間指定制の導入により、受診時間の短縮(待ち時間の短縮)ができた。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍であったが、2021年度と比較して受診率が向上し、市民の健康意識の醸成や健康保持の一助となった。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

特定健診の結果から特定保健指導につなげている。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

生活習慣病予防、重症化予防の重要な健診のため受診率向上を図る必要がある。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--



# 令和 5年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	赤沼智香子
		全体計画						経費区分		-		内線	3396
事務事業名	5860 特定保健指導事業												
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課												
施 策	02010300 地域医療支援体制の推進												
予算 科目	会計	11 国民健康保険特別会計											
	科目	040201 保健事業費・特定健康診査等事業費・特定健康診査等事業費											
	事業	010200 特定健康診査等事業・特定保健指導事業											
事業目的						事業概要・効果							
生活習慣病の予防 特定保健指導目標実施率60%						高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予備群に対し、対象者が自分の健康に関するセルフケア（自己管理）ができるよう一人ひとりに合わせた自主的な健康増進及び疾病予防のための行動目標を設定・実践を支援することにより、生活習慣病への移行を予防し、将来的な医療費削減を図ることを目指す							

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
特定保健指導実施率目標 54% 特定保健指導の実施 48.1% (2020年度法定報告) 尿中塩分測定 508人 平均9.9g 集団運動実践 40回 204人	特定保健指導実施率目標 56% 特定保健指導の実施 38.9% 特定健診受診率 41.6% 尿中塩分測定 491人 平均9.5g 集団運動実践 36回 155人
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
特定保健指導実施目標 58% 特定保健指導の実施 (2022年度法定報告は2023年10月) 特定健診受診率 尿中塩分測定 566人実施 平均9.7g 集団運動実践 46回 延べ429人 実人数 31人参加	特定保健指導実施目標 60% 特定保健指導の実施 特定健診受診率 尿中塩分測定 集団運動実践
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	特定保健指導年間実施率					
算式	(特定保健指導修了者÷特定保健指導対象者) × 100				単位	%
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標	56	58	60		
	実績	38.9				
指標選定の理由	第3期須坂市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づく（H30から）					
最終年度目標の根拠	国の目標に準ずる					
指標名	特定健診の受診率					
算式	(特定健診受診者÷特定保健健診対象者) × 100				単位	%
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標	56	58	60		
	実績	41.6				
指標選定の理由	第3期須坂市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づく（H30から）					
最終年度目標の根拠	国の目標に準ずる					
指標名						
算式					単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		3,239	3,980
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,239	3,980
人員数(人)	正規職員	2.5	1.8
	会計年度(フル)	0.8	0.5
	会計年度(パート)	0.4	0.8
人員コスト	正規職員	17,395.0	12,524.4
	会計年度(フル)	2,803.2	1,752.0
	会計年度(パート)	651.2	1,302.4
	計	20,849.4	15,578.8
市民一人当たりの経費		0.5	0.4
総額		24,088.4	19,558.8

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	200	講師謝礼200
10節 需用費	768	消耗品費633 印刷製本費134
12節 委託費	263	健診データ分析ソフトサポート委託料 66 尿中塩分測定委託料19 健康教育・保健指導委託料177
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,008	報酬1931 旅費 37 郵便料 20 使用料及び賃借料 22

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	60	研修会謝礼 60
10節 需用費	990	消耗品費 770 印刷製本 220
12節 委託費	266	健診データ分析ソフトサポート委託料 66 尿中塩分測定委託料 22 健康教育・保健指導等委託料 178
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,664	会計年度任用職員報酬 2250 旅費 292 郵便料 100 使用料及び賃借料 22

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	国保被保険者が自分の健康に関するセルフケア（自己管理）ができるよう一人ひとりに合わせた自主的な健康増進及び疾病予防のための行動目標を設定・実践を支援することにより、生活習慣病への移行を予防し、将来的な医療費削減を図ることができるため。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	健康課題解決に向かうよう保健事業を行っている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	保健指導マニュアル、研修会実施、定期的に保健指導実施状況を共有した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新型コロナウイルス感染症流行により、令和3年度保健指導実施率を伸ばすことができなかった。指導率をあげていくために体制等の見直しも行った。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

生活習慣病予防のためには、利用者への継続した保健指導が必要。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

生活習慣病予防と重症化予防のためには、健診結果に基づく保健指導の実施率向上が必要である。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	滝澤和美
	全体計画	平成28年度	～ 令和 2年度	経費区分	経常的経費	内線	3326
事務事業名	4087 高齢者自立支援事業						
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課						
施 策	02010400 生きがいづくりと介護予防の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030103 民生費・社会福祉費・高齢者対策費					
	事業	020000 高齢者自立支援事業					
事業目的				事業概要・効果			
高齢者が在宅で安心して生活できる支援と生きがい活動の支援。				高齢者を地域で見守り、安心して生活するための事業。また、家に閉じこもりがちな高齢者及び虚弱な高齢者に対し、仲間づくり等を通じて要介護状態への進行の防止を図る。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
生活指導、健康相談等を通して、ひとり暮らし高齢者等の健康づくりを増進した。 ハッピーエンド計画の取り組みとして、生涯学習推進課と連携してエンディングノート活用講座を開催した。	生活指導、健康相談等を通して、ひとり暮らし高齢者等の健康づくりを増進する。 ハッピーエンド計画の取り組みとして、エンディングノートを改訂し、生涯学習推進課と連携してエンディングノート活用講座を開催した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
生活指導、健康相談等を通して、ひとり暮らし高齢者等の健康づくりを増進する。 ハッピーエンド計画の取り組みとして、生涯学習推進課と連携してエンディングノート活用講座を開催した。	生活指導、健康相談等を通して、ひとり暮らし高齢者等の健康づくりを増進する。 ハッピーエンド計画の取り組みとして、生涯学習推進課と連携してエンディングノート活用講座を開催する。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	すぎかマイ・ノート活用講座参加者数				
算式					単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	30	30	30	30
	実績				
指標選定の理由	自立を考える高齢者の数として				
最終年度目標の根拠	現状の開催回数にあわせて目標値を設定した。				
指標名	見守り支援事業協力隊参加事業者数				
算式					単位 事業所
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	16	17	18	20
	実績				
指標選定の理由	高齢者を見守る施策のひとつとして数値化できるものである				
最終年度目標の根拠	「須坂市高齢者いきいきプラン」(令和3年度～令和5年度)で高齢者福祉施策の指標として目標値を設定したが、現状にあわせて目標値を設定した。				
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		5,931	5,603
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	580	1,136
一般財源		5,351	4,467
人員数(人)	正規職員	0.5	0.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	3,479.0	4,174.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	162.8	162.8
	計	3,641.8	4,337.6
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		9,572.8	9,940.6

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	466	消耗品費466
12節 委託費	1,827	生活管理指導短期宿泊事業委託料28、後期高齢者健康増進事業委託料799、自立生活特別支援事業委託料1,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,638	会計年度任用職員報酬2,257、手当437、借上料440、その他504

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,927	生活管理指導短期宿泊事業委託料201 後期高齢者健康増進事業委託料726、自立生活特別支援事業委託1,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,676	会計年度任用職員報酬2,338、手当449、借上料400、その他489

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひとり暮らし高齢者等の健康づくり及び要介護状態への進行防止につなげている。</li> <li>●社会福祉協議会に委託している自立生活特別支援事業により、介護給付で対応できない生活援助、身体介護を行っている。</li> <li>●人生の最終段階を自分らしく迎え、安心して生きがいを持って暮らすための事業を行っている。</li> <li>●民間事業者の「見守り支援事業協力隊」により、高齢者の見守り協力を行っている。</li> </ul>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひとり暮らし高齢者等の健康づくりと介護予防につながっている。</li> <li>●エンディングノートの活用により、もしもの時に備え家族等へ自分の希望を伝えることができる。</li> <li>●安否確認、孤独死の防止のため「見守り支援事業協力隊」の協力を得て見守りが実施できている。</li> </ul>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自立生活特別支援事業の委託方法について、引き続き検討する。</li> <li>●すぎかマイ・ノートの活用講座については、外部講師ではなく職員が対応している。</li> </ul>	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

- すぎかマイ・ノートについて、広告掲載による方法にて無料で作成し、印刷製本費の削減に努めた。
- 一律の金額で委託している自立生活特別支援事業について、引き続き検討していく。

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

**総合評価コメント**

後期高齢者の介護予防のための事業や、介護保険では対応できない生活支援等、高齢者の方が自立した生活を継続できるための事業として必要です。また、地域での見守りや人生の最期について家族等と話し合っておくことは大切です。

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

**2次評価コメント**

家に閉じこもりがちな高齢者及び虚弱な高齢者に対し、仲間づくり等を通じて要介護状態への進行の防止を図るための重要な取り組みである。

**外部評価**

次年度以降の方向性	
-----------	--

**外部評価コメント**

--



## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	滝澤和美
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>	3326
<b>事務事業名</b>	4089 高齢者在宅福祉事業											
<b>所 属</b>	100300 健康福祉部・高齢者福祉課											
<b>施 策</b>	02010400 生きがいつくりと介護予防の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	030103 民生費・社会福祉費・高齢者対策費										
	<b>事業</b>	030000 高齢者在宅福祉事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
ひとり暮らし・寝たきり・認知症高齢者に対して、在宅での生活支援と介護世帯の経済的負担の軽減を図る。						・在宅の重度要介護者及びその家族を支援するため、「在宅福祉介護者慰労金支給事業」、「在宅福祉利用券給付事業」を行う。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らし安心コール事業の実施した。</li> <li>・高齢者にやさしい住宅改良促進事業等の実施した。</li> <li>・理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らし安心コール事業の実施した。</li> <li>・高齢者にやさしい住宅改良促進事業等の実施した。</li> <li>・理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。</li> </ul>
<b>令和 4年度 実績</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らし安心コール事業の実施。</li> <li>・高齢者にやさしい住宅改良促進事業等の実施。</li> <li>・おむつ購入利用券、理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らし安心コール事業の実施。</li> <li>・高齢者にやさしい住宅改良促進事業等の実施。</li> <li>・おむつ購入利用券、理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業を実施する。</li> </ul>
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	高齢者の外出支援・移動サービスの事業者数				
算式					単位 事業者
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	1	1	2	2
	実績				
指標選定の理由	高齢者の在宅生活を支援する事業である「須崎市高齢者いきいきプラン」(令和3年度～令和5年度)で高齢者福祉施策の指標として目標値を設定したが、令和6年度以降については現状にあわせて目標値を設定した。				
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		35,239	37,850
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	402	838
	地方債	0	0
	その他	15,000	17,000
一般財源		19,837	20,012
人員数(人)	正規職員	0.4	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.0
人員コスト	正規職員	2,783.2	3,479.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	162.8	0.0
	計	2,946.0	3,479.0
市民一人当たりの経費		0.7	0.8
総額		38,185.0	41,329.0

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	19,344	在宅福祉介護者慰労金19,344
10節 需用費	42	消耗品費42
12節 委託費	1,494	助け合い推進事業関連事業委託料1,411、ひとり暮らし安心コール事業委託料83
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	824	高齢者にやさしい住宅改良促進補助753、介護保険社福軽減補助金11、その他60
その他	13,535	扶助費13,461、その他74

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	20,000	在宅福祉介護者慰労金20,000
10節 需用費	97	消耗品費97
12節 委託費	2,202	助け合い推進事業関連事業委託料1,979、ひとり暮らし安心コール事業委託料223
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,559	高齢者にやさしい住宅改良促進補助1,260、介護保険社福軽減補助金21、その他278
その他	13,992	扶助費13,922、その他70

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	●ひとり暮らし高齢者等が安心して生活を送れるよう必要な支援を行う事業を実施している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	●在宅福祉介護者慰労金の給付、一人暮らし安心コール、在宅福祉利用券給付事業を行い、ひとり暮らし高齢者等が在宅で安心して生活できるよう支援した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅改修事業については、県補助金を活用している。</li> <li>●在宅福祉介護者慰労金については、理事者と協議し、現在の制度を継続実施している。</li> </ul>	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

- 在宅福祉介護者慰労金については、介護保険事業（地域支援事業）の対象とならないため、一般財源負担で継続実施した。
- おむつ購入利用券事業についても、一部の対象者は介護保険事業（地域支援事業）の対象とならないため、有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅の居住者を対象外として継続実施した。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

在宅での生活の継続のため、介護保険制度を補完するためにも必要な事業である

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

一人暮らし高齢者や重度要介護者の在宅福祉の充実を図る。介護保険制度を補完するためにも必要な事業である。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	滝澤和美
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 経常的経費 <input type="checkbox"/> 内線	3326
事務事業名	4091 高齢者生きがい対策事業	
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課	
施 策	02010400 生きがいづくりと介護予防の推進	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	030103 民生費・社会福祉費・高齢者対策費
	事業	040000 高齢者生きがい対策事業
事業目的		事業概要・効果
高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、シルバー人材センター等の高齢者による社会生産活動への積極的参加やシニアクラブ等をはじめとする自主的団体への加入がしやすい環境づくりを図る。		高齢者が健康で豊かな生活を過ごすための生きがいや生活の安定を図るための就労支援、シニアクラブの地域貢献事業及びスポーツを通じての健康維持による長寿社会を目指す。

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者訪問を行った。</li> <li>・屋内ゲートボール場の管理運営を行った。</li> <li>・各町老人クラブ・シニアクラブ連合会への支援を行った。</li> <li>・シルバー人材センター等への運営費補助を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者訪問を行った。</li> <li>・屋内ゲートボール場の管理運営を行った。</li> <li>・各町老人クラブ・シニアクラブ連合会への支援を行った。</li> <li>・シルバー人材センター等への運営費補助を行った。</li> </ul>
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者訪問を行った。</li> <li>・屋内ゲートボール場の管理運営を行った。</li> <li>・各町老人クラブ・シニアクラブ連合会への支援を行った。</li> <li>・シルバー人材センター等への運営費補助を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者訪問の実施。</li> <li>・屋内ゲートボール場の管理運営の委託。</li> <li>・各町老人クラブ・シニアクラブ連合会への支援の実施。</li> <li>・シルバー人材センター等への運営費補助の実施。</li> </ul>
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	須高広域シルバー人材センターの受託件数				
算式	シルバー人材センターの年間受託件数				単位 人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	3,722	3,722	3,722	3,722
	実績				
指標選定の理由	地域で生きがいを持って社会参加活動をしている1つの指標				
最終年度目標の根拠	高齢者いきいきプランの目標値を設定				
指標名	介護予防サポーター養成講座受講者数(累計)				
算式					単位 人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	380	400	420	460
	実績				
指標選定の理由	高齢者いきいきプランの目標値を設定				
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位 件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		36,579	39,394
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	633	906
	地方債	0	0
	その他	5,261	5,383
一般財源		30,685	33,105
人員数(人)	正規職員	0.5	0.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.3	0.0
人員コスト	正規職員	3,479.0	5,566.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	488.4	0.0
	計	3,967.4	5,566.4
市民一人当たりの経費		0.8	0.9
総額		40,546.4	44,960.4

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	526	高齢者訪問品代526
10節 需用費	420	消耗品費58、印刷製本費202、修繕料160
12節 委託費	456	筆耕業務委託料75、屋内ゲートボール場指定管理者委託料381
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	34,690	老人福祉センター運営費補助金18,280、シルバー人材センター運営費補助金15,008、その他1,402
その他	487	土地借上料439、その他48

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	679	高齢者訪問品代679
10節 需用費	410	消耗品費10、印刷製本費190、修繕料210
12節 委託費	485	筆耕業務委託料104、屋内ゲートボール場指定管理者委託料381
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	37,343	老人福祉センター運営費補助金20,182、シルバー人材センター運営費補助金15,401、その他1,760
その他	477	土地借上料427、その他50

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	●高齢者が健康で豊かな生活を過ごすための生きがいと健康づくりの支援や安定を図ることができる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シルバー人材センターを支援することにより、高齢者の就業機会の確保と社会参加を促進した。</li> <li>●コロナ禍での活動制限はあったが、各町老人クラブやシニアクラブ連合会等を支援することを通じて、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することができた。</li> </ul>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	●老人福祉センター永楽荘（市社協所管）に対し運営費を補助しているが、施設の老朽化が進み、今後大規模修繕が必要になった場合、施設の廃止について考えている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

- 88歳、100歳、男女最高齢の方に対し、高齢者訪問を行い、祝状・祝品を進呈した。
- 屋内ゲートボール場の管理運営委託、各町老人クラブへの支援、シルバー人材センター等への運営費補助を行った。
- 老人福祉センターくつろぎ荘について、今後も施設を健全に維持管理できるよう適正管理基本調査を行った。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
高齢者の社会参加は健康寿命の延伸にもつながるため、継続実施をしていく。		高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を促進することで介護予防や健康寿命延伸に効果がある。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	滝澤和美
	全体計画			経費区分	-	内線	3326
事務事業名	4093 広域老人ホーム運営事業						
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課						
施 策	02010400 生きがいつくりと介護予防の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030103 民生費・社会福祉費・高齢者対策費					
	事業	050000 広域老人ホーム運営事業					
事業目的				事業概要・効果			
<p>●ひとり暮らしや認知症になっても、必要な時に必要なサービスが利用でき、安心して暮らせるよう、長野広域内の施設運営等に係る費用を構成自治体で負担する。</p>				<p>①老人福祉施設管理費負担金(人口割90%+均等割10%)                  ②老人ホーム入所判定委員会費負担金(人口割90%+均等割10%)                  ③養護・特養老人ホーム施設運営費負担金                  ④公債費負担金(養護松寿荘、はにしな寮、特養松寿荘、小布施荘)                  施設整備により入所者の居住環境の向上を図る。</p>			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
長野広域連合における高齢者福祉施設等の運営管理及び養護老人ホーム入所判定等の負担金を支払った。	長野広域連合における高齢者福祉施設等の運営管理及び養護老人ホーム入所判定等の負担金を支払った。
<b>令和 4年度 実績</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
長野広域連合における高齢者福祉施設等の運営管理及び養護老人ホーム入所判定等の負担金を支払った。	長野広域連合における高齢者福祉施設等の運営管理及び養護老人ホーム入所判定等の負担金を支払う。
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	長野広域連合への負担金であり適する指標がないため					
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		38,857	47,247
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		38,857	47,247
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	695.8	695.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	695.8	695.8
市民一人当たりの経費		0.8	0.9
総額		39,552.8	47,942.8

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	38,857	長野広域連合特別養護老人ホーム負担金38,857
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	47,247	長野広域連合特別養護老人ホーム負担金47,247
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	●高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、長野広域管内の高齢者福祉施設整備を進めている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	●長野広域管内の施設整備を進めることにより、高齢者が必要な時に必要なサービスを利用し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	●事務の性格上、コスト削減は困難である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
●長野広域連合の老人福祉施設管理費負担金、老人ホーム入所判定委員会負担金等の支出を行った。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>長野広域連合が運営する高齢者福祉施設が民間移譲が進められているが、継続して、現在ある高齢者福祉施設の施設整備等により入所者の居住環境の向上を図る必要がある。</p>		<p>長野広域連合で、長野広域管内の施設整備等を進めることにより、効果的な管理運営が図られている。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	滝澤和美
	全体計画			経費区分	経常的経費	内線	3326
事務事業名	4094 老人ホーム措置事業						
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課						
施 策	02010400 生きがいつくりと介護予防の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030104 民生費・社会福祉費・老人措置費					
	事業	010000 老人ホーム措置事業					
事業目的				事業概要・効果			
老人ホーム入所者の適切な措置と効率的な事務執行を図る。				環境上の事情・経済的な事情等により居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の高齢者の入所措置を行う。 須坂市の措置入所分の措置費を支給する。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
環境上の事情・経済的な事情等により居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の高齢者の入所措置を行った。	環境上の事情・経済的な事情等により居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の高齢者の入所措置を行った。
<b>令和 4年度 実績</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
環境上の事情・経済的な事情等により居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の高齢者の入所措置を行った。	環境上の事情・経済的な事情等により居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の高齢者の入所措置を行う。
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	指標を測定する方法がないため					
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		64,412	73,712
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	15,489	18,564
一般財源		48,923	55,148
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	3,479.0	4,174.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	3,479.0	4,174.8
市民一人当たりの経費		1.3	1.5
総額		67,891.0	77,886.8

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1	消耗品費1
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	64,411	養護老人ホーム入所措置費64,405、その他6

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	4	消耗品費4
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	73,708	養護老人ホーム入所措置費72,500、その他1,208

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	●環境上・経済上の事情により、居宅において養護を受けることが困難な市内の高齢者の入居措置を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	●入所を必要とする高齢者が施設へ措置入所することにより、安定した生活を送ることができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	●措置入所者から規則で定められている本人費用の徴収を行っている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

- 養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの措置入所を行い、措置入所者の生活安定を図った。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

緊急的な場合や身寄りのない方など、その方の事情に沿った対応可能な入所施設の確保は必要である。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

老人ホームの措置入所を行い、措置入所者の生活安定を図った。入所施設の確保や適切な入所措置は重要である。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--



## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	宮川靖子
	全体計画			経費区分	-	内線	3362
事務事業名	4096 介護予防支援事業						
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課						
施 策	02010400 生きがいつくりと介護予防の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030108 民生費・社会福祉費・地域包括支援センター費					
	事業	020000 介護予防支援事業					
事業目的				事業概要・効果			
高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにすることを目的に、支援や介護を要する状態になっても、できる限り自宅で自立した生活を営めるように支援する。				高齢者の自立支援をするために、要支援認定者に対して介護予防支援（介護予防サービス計画作成）を実施する。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績		令和 3年度 実績	
介護予防サービス計画作成件数		介護予防サービス計画作成件数	
地域包括支援センター分	2,082件	地域包括支援センター分	2,012件
事業者委託分	2,369件	事業者委託分	1,995件
合計	4,451件	合計	4,007件
令和 4年度 実績		令和 5年度 予定	
介護予防サービス計画作成件数		介護予防サービス計画作成件数	
地域包括支援センター分	1,343件	地域包括支援センター分	1,200件
事業者委託分	1,493件	事業者委託分	2,300件
合計	2,836件	合計	3,500件
令和 6年度 予定		令和 7年度 予定	

指標名	無し						
算式						単位	%
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		9,454	9,300
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5,834	12,915
一般財源	3,620	△3,615	
人員数(人)	正規職員	1.4	1.5
	会計年度(フル)	1.0	1.2
	会計年度(パート)	0.0	0.8
人員コスト	正規職員	9,741.2	10,437.0
	会計年度(フル)	3,504.0	4,204.8
	会計年度(パート)	0.0	1,302.4
	計	13,245.2	15,944.2
市民一人当たりの経費	0.4	0.5	
総額	22,699.2	25,244.2	

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	6,360	ケアマネジメント委託料6,359
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,094	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	9,300	ケアマネジメント委託料9,300
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにするために、支援や介護を要する状態になっても、できる限り自宅で生活できるよう自立支援をする上で大切である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	適切な介護予防支援（介護予防サービス計画）を実施することで、高齢者の自立支援につながる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	事業の性格上、コスト削減は困難である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

高齢化の進展に伴い、対象となる要支援認定者の増加も見込まれるが、必要な方への介護予防支援（介護予防サービス計画作成）を実施するにあたり、地域包括支援センターの介護予防支援専門員の確保が難しいことや、業務委託している居宅介護支援事業所の受け入れ件数に制限があることから、簡略化したケアマネジメントの実施等、委託型地域包括支援センターと連携し、持続可能な体制を整えていく必要がある。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
高齢者が住み慣れた地域で、自立した生活が送れるよう介護予防支援事業は必要である。	

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるために必要な事業である。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 5年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	滝澤和美
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>	3326
<b>事務事業名</b>	4097 老人福祉センター管理事業											
<b>所 属</b>	100300 健康福祉部・高齢者福祉課											
<b>施 策</b>	02010400 生きがいづくりと介護予防の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	030109 民生費・社会福祉費・老人福祉センター費										
	<b>事業</b>	010000 老人福祉センター管理事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
老人福祉センターを活用して、高齢者の教養の向上、レクリエーション等により心身の健康増進を図る。						老人福祉センターくつろぎ荘を指定管理者に委託し、施設の適正管理運営を行う。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須坂市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供した。	老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須坂市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供した。
<b>令和 4年度 実績</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須坂市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供した。	老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須坂市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供する。
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	老人福祉センター年間利用者数						
算式						単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	20,000					
	実績						
指標選定の理由	利用者数での評価が適当なため						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		30,252	31,349
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	27	38
一般財源		30,225	31,311
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	695.8	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	695.8	0.0
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		30,947.8	31,349.0

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	修繕料0
12節 委託費	30,252	老人福祉センターくつろぎ荘指定管理者委託料30,252
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	520	修繕料520
12節 委託費	30,829	老人福祉センターくつろぎ荘指定管理者委託料30,829
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	●高齢者の教養の向上、心身の健康増進を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	●高齢者の教養の向上、心身の健康増進を進めることにより、高齢者の介護予防につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	●施設の老朽化が進んでおり、修繕費用が増加する見込みである。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

- 老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営について、市社会福祉協議会を指定管理者として委託し、施設の適正な運営を行った。
- 施設の老朽化今後も健全に施設の維持管理を行うため、適正管理基本調査を行った。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

老人福祉センターが、介護予防の推進のため高齢者がつどえる場、社会参加の場となるよう施設整備の維持管理と共に、適正な運営を継続していく。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

老人福祉センターを活用して、高齢者の教養の向上、レクリエーション等により心身の健康増進を図る事業を継続する。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--



## 令和 5 年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山岸和幸
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3326
<b>事務事業名</b>	17211 老人福祉センター整備事業											
<b>所 属</b>	100300 健康福祉部・高齢者福祉課											
<b>施 策</b>	02010400 生きがいづくりと介護予防の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	030109 民生費・社会福祉費・老人福祉センター費										
	<b>事業</b>	020000 老人福祉センター整備事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
老人福祉センターを活用して、高齢者の教養の向上、レクリエーション等により心身の健康増進を図る。						既存不適格のエレベーターについて改修を行う。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
	老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須坂市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供した。
<b>令和 4年度 実績</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須坂市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供した。	老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須坂市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供するため、既存不適格のエレベーターについて改修を行う。
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		0	8,400
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	8,400
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.2
総額		0.0	8,400.0

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	8,400	工事請負費8,400
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	●高齢者の教養の向上、心身の健康増進を図るための施設として、整備は必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	●安全に場を提供することにより、高齢者の教養の向上、心身の健康増進を図り、介護予防につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	●施設の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要である。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

2022年度は整備事業無し

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
高齢者の健康づくり、交流の場である老人福祉センターが安全に利用できるよう、計画的な修繕が必要である。		老人福祉センターが安全に利用できるよう、計画的な修繕が必要である。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	